

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2019-51115(P2019-51115A)

【公開日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-013

【出願番号】特願2017-178036(P2017-178036)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月1日(2020.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を利用して遊技を行う遊技機であって、

遊技者に対して遊技媒体を払い出し可能な払い出し手段と、

遊技者に払い出すための遊技媒体が無くなる異常である球無し異常と、払い出された遊技媒体で皿部が満杯になる異常である満杯異常とを検出可能な異常検出手段と、

前記異常検出手段によって前記球無し異常または前記満杯異常が検出された場合に、前記払い出し手段の動作を停止する停止手段と、

を備え、

前記球無し異常または前記満杯異常が解消された場合は、当該異常が解消されてから所定の終了条件が成立するまでは、前記払い出し手段の動作を抑制する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記終了条件は、前記球無し異常が解消された場合と前記満杯異常が解消された場合とで互いに異なる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

遊技媒体を利用して遊技を行う遊技機であって、

遊技者に対して遊技媒体を払い出し可能な払い出し手段と、

遊技者に払い出すための遊技媒体が無くなる異常である球無し異常と、払い出された遊技媒体で皿部が満杯になる異常である満杯異常とを検出可能な異常検出手段と、

前記異常検出手段によって前記球無し異常または前記満杯異常が検出された場合に、前記払い出し手段の動作を停止する停止手段と、  
を備え、

前記球無し異常または前記満杯異常が解消された場合は、当該異常が解消されてから所定の終了条件が成立するまでは、前記払い出し手段の動作を抑制することを特徴とする。

また、本発明の遊技機は、

請求項1に記載の遊技機において、

前記終了条件は、前記球無し異常が解消された場合と前記満杯異常が解消された場合とで互いに異なる

こととしてもよい。